

# 学校再編案（第6回委員会時点）

## I. 学校再編案の評価方法

---

### 1) 第一段階

#### ① 各学校の将来推計結果の確認

各小学校の児童数及び各小学校エリアから中学校へ進学する生徒数の将来推計結果を整理する。  
児童・生徒数については、要因法3パターンと変化率法3パターンの計6パターンで算出された値の平均値を採用する。

#### ② 学校統合等による規模適正化

各再編対象グループにおいて、現行の学校区における規模の推移を確認し、適正化すべき小規模校となる学校がグループ内にある場合は、規模の適正化が図られるよう統合による再編パターンを検討する。

また、各再編対象グループにおいて、義務教育学校を整備した場合の再編パターンについても検討する。

再編パターンの検討にあたっては、以下を前提条件とする。

#### ● 前提条件

- ・統合等による新たな飛び地は発生させない
- ・小学校同士の統合は、「適正化すべき小規模校」を含むパターンのみ検討する

なお、学校規模について、児童生徒数に応じて次の表のとおり、「適正化すべき小規模校」・「小規模校」・「適正規模校」・「大規模校①」・「大規模校②」・「適正化すべき過大規模校」の6段階で整理する。

1学級の児童及び生徒数は、公立義務教育諸学校の学校編成及び教職員定数の基準に関する法律に基づき、35人で想定する。

### ③ 学校規模に関する評価

- ②にて検討した再編パターンにおける学校規模について、評価基準を以下のとおり設定し、評価する。
- 適切な集団規模を確保できないことから、「適正化すべき小規模校」や「適正化すべき過大規模校」が発生する再編パターンは、検討対象外とする。
  - 令和17年までに小規模校が発生する再編パターンは検討対象外とする。
  - 小学校及び中学校については、児童生徒数が市全体で減少傾向にあることを踏まえ、適正規模校に加えて大規模校①及び大規模校②までを許容する。
  - 義務教育学校については、児童生徒数が市全体で減少傾向にあることや、学校運営において1施設あたり1,000人程度までの児童生徒数が望ましいという意見を踏まえ、適正規模校に加えて大規模校①までを許容する。ただし、学校の建替には約10年を要すると見込まれることから、令和17年までの期間については大規模校②についても許容する。

表 学校規模

学校規模		小規模校		適正規模校	大規模校		
		適正化すべき小規模校			大規模校①	大規模校②	適正化すべき過大規模校
小学校	児童数 (想定学級数)	120人以下 かつ 6学級以下	121~215人 (11学級以下)	216~630人 (12~18学級)	631~840人 (19~24学級)	841~1,050人 (25~30学級)	1,051人~ (31学級以上)
		120人以下 かつ 6学級以下	121~212人 (8学級以下)	213~630人 (9~18学級)	631~840人 (19~24学級)	841~1,050人 (25~30学級)	1,051人~ (31学級以上)
義務教育学校	児童生徒数 (想定学級数)	180人以下 かつ 9学級以下	181~323人 (17学級以下)	324~945人 (18~27学級)	946~1,260人 (28~36学級)	1,261~1,575人 (37~45学級)	1,576人~ (46学級以上)

## 2) 第二段階

### ① 通学支援対象者の整理

想定される再編パターンについて、各小学校・義務教育学校それぞれにおいて、学校再編後に進学先となる学校敷地に通学する際に、通学距離が2kmを超える児童数を整理する。2kmを超える児童数が比較的少ないと想定される学校敷地を選定する。

### ② 学校敷地面積の整理

小学校、中学校、義務教育学校それぞれにおいて、将来の児童生徒数に応じた必要な敷地面積を算出する。その結果と現学校敷地面積との比較を行い、必要な敷地面積が確保されているかを整理する。

### ③ 学校整備地に関する評価

①及び②の整理結果に加え、本市が推進する施設一体型義務教育学校の実現性について、総合的に評価する。

## 2. 学校再編案の検討及び評価（第一段階）

### 1) 那加・桜丘中学校グループ

#### ① 各学校の将来推計結果の確認

那加・桜丘中学校グループの各小学校区の児童数及び中学校へ通学する生徒数は以下の通りである。

表 那加第一小学校の児童・生徒数

	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
児童数	850	716	717	745	761	749	740	731
生徒数	498	452	376	379	398	400	389	386

表 那加第二小学校の児童・生徒数

	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
児童数	377	341	369	352	324	291	260	238
生徒数	224	174	187	175	168	152	135	120

表 那加第三小学校の児童・生徒数

	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
児童数	427	368	348	337	317	294	277	263
生徒数	210	206	188	176	173	159	147	139

表 尾崎小学校の児童・生徒数

	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
児童数	68	78	69	52	38	27	18	13
生徒数	68	29	40	31	23	16	12	8

## ② 学校統合等による規模適正化

那加・桜丘中学校グループにおいて、現況は以下の通りである。

### ● 現況パターン

那加中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
那加中学校	708	658	564	555	571	559	536	525
那加第一小学校	850	716	717	745	761	749	740	731
那加第三小学校	427	368	348	337	317	294	277	263
桜丘中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
桜丘中学校	292	203	227	206	191	168	147	128
那加第二小学校	377	341	369	352	324	291	260	238
尾崎小学校	68	78	69	52	38	27	18	13



次に「適正化すべき小規模校」となる尾崎小学校を規模適正化した再編パターンを検討する。

### ● (1) 那加第二小学校と尾崎小学校を統合

那加中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
那加中学校	708	658	564	555	571	559	536	525
那加第一小学校	850	716	717	745	761	749	740	731
那加第三小学校	427	368	348	337	317	294	277	263
桜丘中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
桜丘中学校	292	203	227	206	191	168	147	128
A小学校(那二+尾)	445	419	438	404	362	318	278	251



### ● (2)① 那加第一小学校と尾崎小学校を統合

那加中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
A中学校	776	687	604	586	594	575	548	533
A小学校(那一+尾)	918	794	786	797	799	776	758	744
那加第三小学校	427	368	348	337	317	294	277	263
桜丘中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
B中学校	224	174	187	175	168	152	135	120
那加第二小学校	377	341	369	352	324	291	260	238



### ● (2)② 那加第一小学校と尾崎小学校を統合

那加中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
A中学校	566	481	416	410	421	416	401	394
A小学校(那一+尾)	918	794	786	797	799	776	758	744
桜丘中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
B中学校	434	380	375	351	341	311	282	259
那加第二小学校	377	341	369	352	324	291	260	238
那加第三小学校	427	368	348	337	317	294	277	263



次に現況及び規模適正化した再編パターンを基に、義務教育学校化した再編パターンを検討する。

※再編イメージ中の「後期課程」：義務教育学校における中学校段階（中学1年から3年）を示す

● (1) I

那加中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
A義務教育学校(那一+那三)	1,985	1,742	1,629	1,637	1,649	1,602	1,553	1,519
桜丘中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
B義務教育学校(那二+尾)	737	622	665	610	553	486	425	379



● (1) II

那加中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
A義務教育学校(那一)	1,348	1,168	1,093	1,124	1,159	1,149	1,129	1,117
B義務教育学校(那三)	637	574	536	513	490	453	424	402
桜丘中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
C義務教育学校(那二+尾)	737	622	665	610	553	486	425	379



● (2) ① I

那加中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
A義務教育学校(那一+尾)	1,484	1,275	1,202	1,207	1,220	1,192	1,159	1,138
B義務教育学校(那三)	637	574	536	513	490	453	424	402
桜丘中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
C義務教育学校(那二)	601	515	556	527	492	443	395	358



● (2) ① II

那加中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
A義務教育学校(那一+那三+尾)	2,121	1,849	1,738	1,720	1,710	1,645	1,583	1,540
桜丘中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
C義務教育学校(那二)	601	515	556	527	492	443	395	358



● (2)② I

那加中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
A義務教育学校(那一+尾)	1,484	1,275	1,202	1,207	1,220	1,192	1,159	1,138
桜丘中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
B義務教育学校(那二+那三)	1,238	1,089	1,092	1,040	982	896	819	760



### ③ 学校規模に関する評価

検討した再編パターンについて、将来にわたり適正な学校規模が確保されているか評価する。

表 学校規模に関する評価(那加・桜丘中学校グループ)

	適正化すべき 小規模校・ 過大規模校	令和17年までに 発生する小規模校	義務教育学校にて 令和22年以降に 発生する大規模校②	最終評価
現況 	×(有り)	-	-	×
(1) 	○(無し)	×(有り)	/	×
(2)① 	○(無し)	×(有り)		×
(2)② 	○(無し)	○(無し)		○
(1) I 	×(有り)	-	-	×
(1) II 	○(無し)	○(無し)	○(無し)	○
(2)① I 	○(無し)	○(無し)	○(無し)	○
(2)① II 	×(有り)	-	-	×
(2)② I 	○(無し)	○(無し)	○(無し)	○

▶ 那加・桜丘中学校グループでは、4つの再編パターンが将来にわたり適正な規模が確保できる。

## 2) 稲羽中学校グループ

### ① 各学校の将来推計結果の確認

稲羽中学校グループの各小学校区の子童数及び中学校へ通学する生徒数は以下の通りである。

表 稲羽西小学校の子童・生徒数

	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
子童数	234	245	231	204	175	152	137	121
生徒数	154	118	131	118	102	87	76	70

表 稲羽東小学校の子童・生徒数

	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
子童数	118	118	108	90	73	58	47	40
生徒数	58	59	58	47	39	31	25	20

## ② 学校の統合等による規模適正化

稲羽中学校グループにおいて、現況は以下の通りである。

### ● 現況パターン

稲羽中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
稲羽中学校	212	177	189	165	141	118	101	90
稲羽西小学校	234	245	231	204	175	152	137	121
稲羽東小学校	118	118	108	90	73	58	47	40



次に適正化すべき小規模校である稲羽東小学校を規模適正化した再編パターンについて整理する。

### ● (1) 稲羽西小学校と稲羽東小学校を統合

稲羽中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
稲羽中学校	212	177	189	165	141	118	101	90
A小学校(稲西+稲東)	352	363	339	294	248	210	184	161



次に現況及び規模適正化した再編パターンを基に、義務教育学校化した再編パターンを検討する。

### ● (1) I




稲羽中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
A義務教育学校(稲西+稲東)	564	540	528	459	389	328	285	251



### ③ 学校規模に関する評価

検討した再編パターンについて、将来にわたり適正な学校規模が確保されているか評価する。

表 学校規模に関する評価(稲羽中学校グループ)

	適正化すべき 小規模校・ 過大規模校	令和17年までに 発生する小規模校	義務教育学校にて 令和22年以降に 発生する大規模校②	最終評価
現況 	×(有り)	-	-	×
(1) 	×(有り)	-	-	×
(1) I 	○(無し)	○(無し)	○(無し)	○

▶ 稲羽中学校グループでは、1つの再編パターンが将来にわたり適正な規模が確保できる。

### 3) 川島中学校グループ

#### ① 各学校の将来推計結果の確認

川島中学校グループの児童数及び中学校へ進学する生徒数は以下の通りである。

表 川島小学校の児童・生徒数

	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
児童数	628	565	533	527	513	491	460	422
生徒数	356	315	281	274	272	262	249	231

## ② 学校の統合等による規模適正化

川島中学校グループにおいて、現況は以下の通りである。

### ● 現況パターン

川島中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
川島中学校	356	315	281	274	272	262	249	231
川島小学校	628	565	533	527	513	491	460	422



川島中学校区においては、適正化すべき小規模校は発生しないため、規模適正化は検討しない。  
次に現況を基に、義務教育学校化した再編パターンを検討する。

### ● I



川島中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
A義務教育学校(川)	984	880	814	801	785	753	709	653



### ③ 学校規模に関する評価

検討した再編パターンについて、将来にわたり適正な学校規模が確保されているか評価する。

表 学校規模に関する評価(川島中学校グループ)

		適正化すべき 小規模校・ 過大規模校	令和17年までに 発生する小規模校	義務教育学校にて 令和22年以降に 発生する大規模校②	最終評価
現況		○(無し)	○(無し)	○(無し)	○
I		○(無し)	○(無し)	○(無し)	○

▶ 川島中学校グループでは、2つの再編パターンが将来にわたり適正な規模が確保できる。

#### 4) 鶺沼・中央中学校グループ

##### ① 各学校の将来推計結果の確認

鶺沼・中央中学校グループの各小学校区の児童数及び中学校へ進学する生徒数は以下の通りである。

表 鶺沼第一小学校の児童・生徒数

	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
児童数	558	529	530	530	518	491	463	444
生徒数	301	289	276	275	275	265	248	235

表 鶺沼第二小学校の児童・生徒数

	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
児童数	524	586	591	608	583	550	528	505
生徒数	334	233	310	323	329	307	290	280

表 八木山小学校の児童・生徒数

	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
児童数	134	136	127	108	92	81	70	60
生徒数	74	60	66	55	47	40	36	30

表 陵南小学校の児童・生徒数

	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
児童数	243	248	280	279	263	241	213	190
生徒数	190	119	149	151	149	137	125	109

表 各務小学校の児童・生徒数

	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
児童数	118	114	108	94	78	67	57	48
生徒数	73	52	61	54	46	38	33	28

表 中央小学校の児童・生徒数

	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
児童数	331	321	326	309	280	257	237	219
生徒数	190	163	167	160	150	133	123	114

## ② 学校の統合等による規模適正化

鵜沼・中央中学校グループにおいて、現況は以下の通りである。

### ● 現況パターン

鵜沼中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
鵜沼中学校	448	401	403	384	368	343	317	293
鵜沼第一小学校	558	529	530	530	518	491	463	444
八木山小学校	134	136	127	108	92	81	70	60
各務小学校	118	114	108	94	78	67	57	48
中央中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
中央中学校	714	515	626	634	628	577	538	503
鵜沼第二小学校	524	586	591	608	583	550	528	505
陵南小学校	243	248	280	279	263	241	213	190
中央小学校	331	321	326	309	280	257	237	219



次に適正化すべき小規模校である八木山小学校及び各務小学校を規模適正化した再編パターンについて整理する。

### ● (1)① 八木山小学校・各務小学校を同じ小学校と統合

鵜沼中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
鵜沼中学校	448	401	403	384	368	343	317	293
鵜沼第一小学校	558	529	530	530	518	491	463	444
A小学校(八+各)	252	250	235	202	170	148	127	108
中央中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
中央中学校	714	515	626	634	628	577	538	503
鵜沼第二小学校	524	586	591	608	583	550	528	505
陵南小学校	243	248	280	279	263	241	213	190
中央小学校	331	321	326	309	280	257	237	219



### ● (1)② 八木山小学校・各務小学校を同じ小学校と統合

鵜沼中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
鵜沼中学校	448	401	403	384	368	343	317	293
A小学校(鵜一+八+各)	810	779	765	732	688	639	590	552
中央中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
中央中学校	714	515	626	634	628	577	538	503
鵜沼第二小学校	524	586	591	608	583	550	528	505
陵南小学校	243	248	280	279	263	241	213	190
中央小学校	331	321	326	309	280	257	237	219



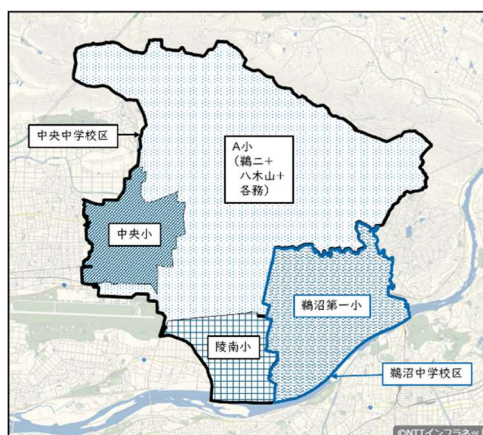
● (1)③ 八木山小学校・各務小学校を同じ小学校と統合

鵜沼中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
鵜沼中学校	301	289	276	275	275	265	248	235
鵜沼第一小学校	558	529	530	530	518	491	463	444
中央中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
中央中学校	861	627	753	743	721	655	607	561
鵜沼第二小学校	524	586	591	608	583	550	528	505
陵南小学校	243	248	280	279	263	241	213	190
A小学校(八+各+中)	583	571	561	511	450	405	364	327



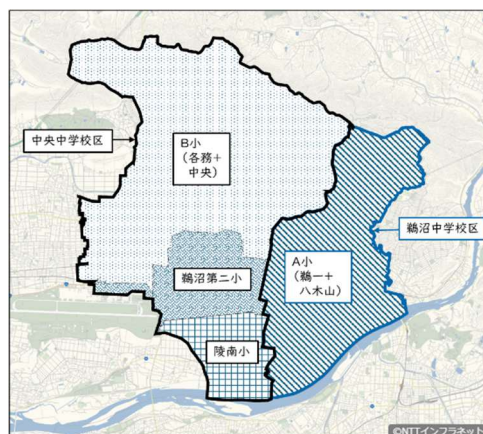
● (1)④ 八木山小学校・各務小学校を同じ小学校と統合

鵜沼中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
鵜沼中学校	301	289	276	275	275	265	248	235
鵜沼第一小学校	558	529	530	530	518	491	463	444
中央中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
中央中学校	861	627	753	743	721	655	607	561
A小学校(鵜二+八+各)	776	836	826	810	753	698	655	613
陵南小学校	243	248	280	279	263	241	213	190
中央小学校	331	321	326	309	280	257	237	219



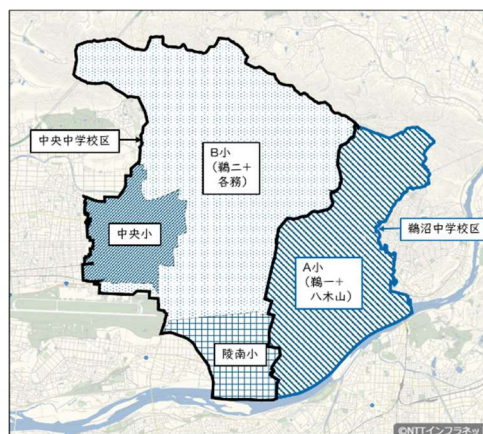
● (2)① 八木山小学校・各務小学校をそれぞれ別の小学校と統合

鵜沼中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
鵜沼中学校	375	349	342	330	322	305	284	265
A小学校(鵜一+八)	692	665	657	638	610	572	533	504
中央中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
中央中学校	787	567	687	688	674	615	571	531
鵜沼第二小学校	524	586	591	608	583	550	528	505
陵南小学校	243	248	280	279	263	241	213	190
B小学校(各+中)	449	435	434	403	358	324	294	267



● (2)② 八木山小学校・各務小学校をそれぞれ別の小学校と統合

鵜沼中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
鵜沼中学校	375	349	342	330	322	305	284	265
A小学校(鵜一+八)	692	665	657	638	610	572	533	504
中央中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
中央中学校	787	567	687	688	674	615	571	531
B小学校(鵜二+各)	642	700	699	702	661	617	585	553
陵南小学校	243	248	280	279	263	241	213	190
中央小学校	331	321	326	309	280	257	237	219



次に現況及び規模適正化した再編パターンを基に、義務教育学校化した再編パターンを検討する。

● (1)②I

鵜沼中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
A義務教育学校(鵜一+八+各)	1,258	1,180	1,168	1,116	1,056	982	907	845
中央中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
B義務教育学校(鵜二+陵+中)	1,812	1,670	1,823	1,830	1,754	1,625	1,516	1,417



● (1)②II

鵜沼中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
A義務教育学校(鵜一+八+各)	1,258	1,180	1,168	1,116	1,056	982	907	845
B中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
B義務教育学校(鵜二+陵)	1,291	1,186	1,330	1,361	1,324	1,235	1,156	1,084
C中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
C義務教育学校(中)	521	484	493	469	430	390	360	333



● (1)②III

鵜沼中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
A義務教育学校(鵜一+八+各)	1,258	1,180	1,168	1,116	1,056	982	907	845
B中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
B義務教育学校(鵜二+中)	1,379	1,303	1,394	1,400	1,342	1,247	1,178	1,118
C中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
C義務教育学校(陵)	433	367	429	430	412	378	338	299



● (1)②IV

鵜沼中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
A義務教育学校(鵜一+八+各)	1,258	1,180	1,168	1,116	1,056	982	907	845
B中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
B義務教育学校(鵜二)	858	819	901	931	912	857	818	785
C中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
C義務教育学校(陵)	433	367	429	430	412	378	338	299
D中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
D義務教育学校(中)	521	484	493	469	430	390	360	333



● (1)③I

鵜沼中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
A義務教育学校(鵜一)	859	818	806	805	793	756	711	679
中央中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
B義務教育学校(鵜二+八+各+陵+中)	2,211	2,032	2,185	2,141	2,017	1,851	1,712	1,583



● (1)③II

鵜沼中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
A義務教育学校(鵜一)	859	818	806	805	793	756	711	679
中央中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
B義務教育学校(鵜二+八+各+中)	1,778	1,665	1,756	1,711	1,605	1,473	1,374	1,284
C義務教育学校(陵)	433	367	429	430	412	378	338	299



● (1)③III

鵜沼中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
A義務教育学校(鵜一)	859	818	806	805	793	756	711	679
中央中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
B義務教育学校(鵜二)	858	819	901	931	912	857	818	785
C義務教育学校(陵南)	433	367	429	430	412	378	338	299
D義務教育学校(八+各+中)	920	846	855	780	693	616	556	499



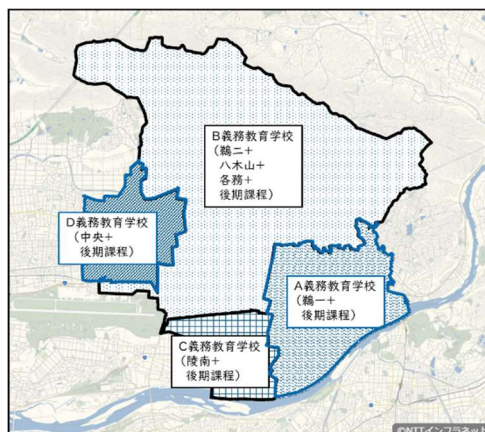
● (1)③IV

鵜沼中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
A義務教育学校(鵜一)	859	818	806	805	793	756	711	679
中央中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
B義務教育学校(鵜二+陵)	1,291	1,186	1,330	1,361	1,324	1,235	1,156	1,084
C義務教育学校(八+各+中)	920	846	855	780	693	616	556	499



● (1)④ I

鵜沼中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
A義務教育学校(鵜一)	859	818	806	805	793	756	711	679
中央中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
B義務教育学校(鵜二+各+八)	1,257	1,181	1,263	1,242	1,175	1,083	1,014	951
C義務教育学校(中)	521	484	493	469	430	390	360	333
D義務教育学校(陵)	433	367	429	430	412	378	338	299



● (1)④ II

鵜沼中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
A義務教育学校(鵜一)	859	818	806	805	793	756	711	679
中央中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
B義務教育学校(鵜二+八+各+陵)	1,690	1,548	1,692	1,672	1,587	1,461	1,352	1,250
C義務教育学校(中)	521	484	493	469	430	390	360	333



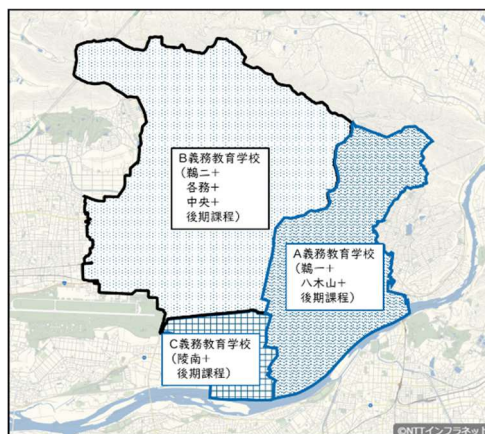
● (2)① I

鵜沼中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
A義務教育学校(鵜一+八)	1,067	1,014	999	968	932	877	817	769
中央中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
B義務教育学校(鵜二+陵+各+中)	2,003	1,836	1,992	1,978	1,878	1,730	1,606	1,493



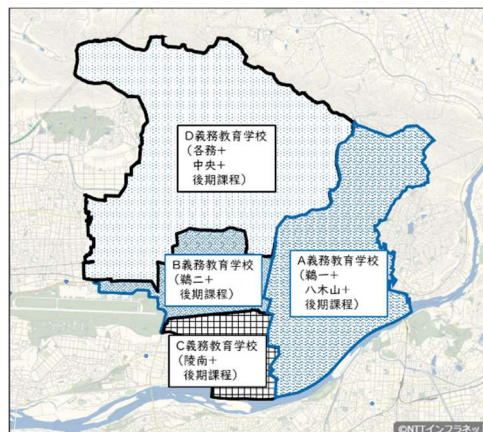
● (2)① II

鵜沼中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
A義務教育学校(鵜一+八)	1,067	1,014	999	968	932	877	817	769
中央中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
B義務教育学校(鵜二+各+中)	1,570	1,469	1,563	1,548	1,466	1,352	1,268	1,194
C義務教育学校(陵)	433	367	429	430	412	378	338	299



● (2)①Ⅲ

鵜沼中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
A義務教育学校(鵜一+八)	1,067	1,014	999	968	932	877	817	769
中央中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
B義務教育学校(鵜二)	858	819	901	931	912	857	818	785
C義務教育学校(陵)	433	367	429	430	412	378	338	299
D義務教育学校(各+中)	712	650	662	617	554	495	450	409



● (2)①Ⅳ

鵜沼中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
A義務教育学校(鵜一+八)	1,067	1,014	999	968	932	877	817	769
中央中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
B義務教育学校(鵜二+陵)	1,291	1,186	1,330	1,361	1,324	1,235	1,156	1,084
C義務教育学校(各+中)	712	650	662	617	554	495	450	409



● (2)②Ⅰ

鵜沼中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
A義務教育学校(鵜一+八)	1,067	1,014	999	968	932	877	817	769
中央中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
B義務教育学校(鵜二+各)	1,049	985	1,070	1,079	1,036	962	908	861
C義務教育学校(陵)	433	367	429	430	412	378	338	299
D義務教育学校(中)	521	484	493	469	430	390	360	333



● (2)②Ⅱ


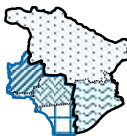
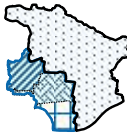




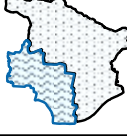
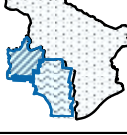

鵜沼中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
A義務教育学校(鵜一+八)	1,067	1,014	999	968	932	877	817	769
中央中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
B義務教育学校(鵜二+陵+各)	1,482	1,352	1,499	1,509	1,448	1,340	1,246	1,160
C義務教育学校(中)	521	484	493	469	430	390	360	333





### ③ 学校規模に関する評価

検討した再編パターンについて、将来にわたり適正な学校規模が確保されているか評価する。

表 学校規模に関する評価(鷺沼・中央中学校グループ)

	適正化すべき 小規模校・ 過大規模校	令和17年までに 発生する小規模校	義務教育学校にて 令和22年以降に 発生する大規模校②	最終評価
現況 	×(有り)	-	-	×
(1)① 	×(有り)	-	-	×
(1)② 	○(無し)	○(無し)		○
(1)③ 	○(無し)	○(無し)		○
(1)④ 	○(無し)	○(無し)		○
(2)① 	○(無し)	○(無し)		○
(2)② 	○(無し)	○(無し)		○
(1)②I 	×(有り)	-	-	×
(1)②II 	○(無し)	○(無し)	×(有り)	×
(1)②III 	○(無し)	○(無し)	×(有り)	×

		適正化すべき 小規模校・ 過大規模校	令和17年までに 発生する小規模校	義務教育学校にて 令和22年以降に 発生する大規模校②	最終評価
(1)②Ⅳ		○(無し)	○(無し)	○(無し)	○
(1)③Ⅰ		×(有り)	-	-	×
(1)③Ⅱ		×(有り)	-	-	×
(1)③Ⅲ		○(無し)	○(無し)	○(無し)	○
(1)③Ⅳ		○(無し)	○(無し)	×(有り)	×
(1)④Ⅰ		○(無し)	○(無し)	×(有り)	×
(1)④Ⅱ		×(有り)	-	-	×
(2)①Ⅰ		×(有り)	-	-	×
(2)①Ⅱ		○(無し)	○(無し)	×(有り)	×
(2)①Ⅲ		○(無し)	○(無し)	○(無し)	○
(2)①Ⅳ		○(無し)	○(無し)	×(有り)	×

		適正化すべき 小規模校・ 過大規模校	令和17年までに 発生する小規模校	義務教育学校にて 令和22年以降に 発生する大規模校②	最終評価
(2)② I		○(無し)	○(無し)	○(無し)	○
(2)② II		○(無し)	○(無し)	×(有り)	×

▶ 鷺沼・中央中学校グループでは、9つの再編パターンが将来にわたり適正な規模を確保できる。

## 5) 緑陽中学校グループ

### ① 各学校の将来推計結果の確認

緑陽中学校グループの各小学校区の子童数及び中学校へ進学する生徒数は以下の通りである。

表 鶴沼第三小学校の子童・生徒数

	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
子童数	402	328	351	356	344	321	301	270
生徒数	324	189	185	179	184	172	161	151

表 緑苑小学校の子童・生徒数

	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
子童数	67	47	38	28	20	14	10	7
生徒数	42	30	24	18	13	10	7	5

## ② 学校の統合等による規模適正化

緑陽中学校グループにおいて、現況は以下の通りである。

### ● 現況パターン

緑陽中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
緑陽中学校	366	219	209	197	197	182	168	156
鶴沼第三小学校	402	328	351	355	343	321	301	270
緑苑小学校	67	47	38	28	20	14	10	7



次に適正化すべき小規模校である緑苑小学校を規模適正化した再編パターンについて整理する。

### ● (1) 鶴沼第三小学校と緑苑小学校を統合

緑陽中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
緑陽中学校	366	219	209	197	197	182	168	156
A小学校(鶴三+緑)	469	375	389	383	363	335	311	277



次に規模適正化した再編パターンを基に、義務教育学校化した再編パターンを検討する。

### ● (1) I




緑陽中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
A義務教育学校(鶴三+緑)	835	594	598	580	560	517	479	433



### ③ 学校規模に関する評価

検討した再編パターンについて、将来にわたり適正な学校規模が確保されているか評価する。

表 学校規模に関する評価(緑陽中学校グループ)

	適正化すべき 小規模校・ 過大規模校	令和17年までに 発生する小規模校	義務教育学校にて 令和22年以降に 発生する大規模校②	最終評価
現況 	×(有り)	-	-	×
(I) 	○(無し)	○(無し)	/	○
(I) I 	○(無し)	○(無し)		○(無し)

▶ 緑陽中学校グループでは、2つの再編パターンが将来にわたり適正な規模を確保できる。

## 6) 蘇原中学校グループ

### ① 各学校の将来推計結果の確認

蘇原中学校グループの各小学校区の児童数及び中学校へ進学する生徒数は以下の通りである。

表 蘇原第一小学校の児童・生徒数

	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
児童数	625	629	589	546	482	420	365	323
生徒数	360	276	310	292	267	231	201	174

表 蘇原第二小学校の児童・生徒数

	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
児童数	323	340	339	319	290	261	231	208
生徒数	250	166	196	180	171	151	137	120

## ② 学校の統合等による規模適正化

蘇原中学校グループにおいて、現況は以下の通りである。

### ● 現況パターン

蘇原中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
蘇原中学校	610	442	506	472	438	382	338	294
蘇原第一小学校	625	629	589	546	482	420	365	323
蘇原第二小学校	323	340	339	319	290	261	231	208



蘇原中学校区においては、適正化すべき小規模校は発生しないため、規模適正化は検討しない。  
次に現況を基に、義務教育学校化した再編パターンを検討する。

### ● I

蘇原中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
A義務教育学校(蘇一+蘇二)	1,558	1,411	1,434	1,337	1,210	1,063	934	825



### ● II




蘇原中学校区	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
A義務教育学校(蘇一)	985	905	899	838	749	651	566	497
B義務教育学校(蘇二)	573	506	535	499	461	412	368	328



### ③ 学校規模に関する評価

検討した再編パターンについて、将来にわたり適正な学校規模が確保されているか評価する。

表 学校規模に関する評価(蘇原中学校グループ)

		適正化すべき 小規模校・ 過大規模校	令和17年までに 発生する小規模校	義務教育学校にて 令和22年以降に 発生する大規模校②	最終評価
現況		○(無し)	○(無し)		○
I		○(無し)	○(無し)	×(有り)	×
II		○(無し)	○(無し)	○(無し)	○

▶ 蘇原中学校グループでは、2つの再編パターンが将来にわたり適正な規模を確保できる。

### 3. 学校再編案の検討(第二段階)

#### ① 通学支援対象者の整理

第一段階で選定した検討対象となる再編パターンにおいて、それぞれの学校敷地で整備されると仮定した時に、スクールバス等支援策の導入基準となる「通学距離が2kmを超える児童数」を整理する。  
敷地候補地は、再編前の小学校又は中学校敷地とする。

#### 1) 那加・桜丘中学校グループ

那加・桜丘中学校グループの各小学校区における通学支援対象児童数は以下の通りである。

表 那加第一小学校区の対象児童数

敷地候補地	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
那加第一小学校	22	18	18	19	19	19	19	19
那加第二小学校	261	220	221	229	234	230	228	225
那加第三小学校	113	95	96	99	101	100	99	97
尾崎小学校	382	322	322	335	342	336	332	328
那加中学校	213	179	180	187	191	188	185	183
桜丘中学校	414	348	349	363	370	364	360	356

表 那加第二小学校区の対象児童数

敷地候補地	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
那加第一小学校	280	253	274	261	241	216	193	177
那加第二小学校	0	0	0	0	0	0	0	0
那加第三小学校	28	26	28	27	24	22	20	18
尾崎小学校	377	341	369	352	324	291	260	238
那加中学校	0	0	0	0	0	0	0	0
桜丘中学校	12	11	12	11	10	9	8	8

表 那加第三小学校区の対象児童数

敷地候補地	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
那加第一小学校	19	16	16	15	14	13	12	12
那加第二小学校	0	0	0	0	0	0	0	0
那加第三小学校	0	0	0	0	0	0	0	0
尾崎小学校	386	333	315	305	287	266	250	238
那加中学校	0	0	0	0	0	0	0	0
桜丘中学校	0	0	0	0	0	0	0	0

表 尾崎小学校区の対象児童数

敷地候補地	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
那加第一小学校	15	17	15	12	9	6	4	3
那加第二小学校	68	78	69	52	38	27	18	13
那加第三小学校	68	78	69	52	38	27	18	13
尾崎小学校	0	0	0	0	0	0	0	0
那加中学校	68	78	69	52	38	27	18	13
桜丘中学校	68	78	69	52	38	27	18	13

次に第一段階で選定した再編パターンについて、再編後の小学校・義務教育学校の敷地候補地における通学支援対象児童数を整理する。

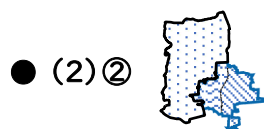


表 対象児童数 (2)② - A小学校

再編後の学校	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
整備候補地								
A小学校(那+尾崎)								
那加第一小	37	35	33	31	28	25	23	22
尾崎小	382	322	322	335	342	336	332	328

● (1) II 

表 対象児童数 (1) II - A、B、C義務教育学校

再編後の学校 整備候補地	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
	A義務教育学校(那一)							
那加第一小	22	18	18	19	19	19	19	19
那加中	213	179	180	187	191	188	185	183
B義務教育学校(那三)								
那加第三小	0	0	0	0	0	0	0	0
那加中	0	0	0	0	0	0	0	0
C義務教育学校(那二+尾崎)								
那加第二小	68	78	69	52	38	27	18	13
尾崎小	377	341	369	352	324	291	260	238
桜丘中	80	89	81	63	48	36	26	21


● (2) ① I 

表 対象児童数 (2) ① I - A、B、C義務教育学校

再編後の学校 整備候補地	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
	A義務教育学校(那一+尾崎)							
那加第一小	37	35	33	31	28	25	23	22
尾崎小	382	322	322	335	342	336	332	328
那加中	281	257	249	239	229	215	203	196
桜丘中	482	426	418	415	408	391	378	369
B義務教育学校(那三)								
那加第三小	0	0	0	0	0	0	0	0
那加中	0	0	0	0	0	0	0	0
C義務教育学校(那二)								
那加第二小	0	0	0	0	0	0	0	0
桜丘中	12	11	12	11	10	9	8	8

● (2)② I



表 対象児童数 (2)② I - A、B義務教育学校

再編後の学校	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
整備候補地								
A義務教育学校(那一+尾崎)								
那加第一小	37	35	33	31	28	25	23	22
尾崎小	382	322	322	335	342	336	332	328
那加中	281	257	249	239	229	215	203	196
桜丘中	482	426	418	415	408	391	378	369
B義務教育学校(那二+那三)								
那加第二小	0	0	0	0	0	0	0	0
那加第三小	28	26	28	27	24	22	20	18
那加中	0	0	0	0	0	0	0	0
桜丘中	12	11	12	11	10	9	8	8

## 2) 稲羽中学校グループ

稲羽中学校グループの各小学校区における通学支援対象児童数は以下の通りである。

表 稲羽西小学校区の対象児童数

敷地候補地	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
稲羽西小学校	21	22	20	18	16	14	12	11
稲羽東小学校	223	233	220	194	167	145	131	115
稲羽中学校	68	71	67	59	51	44	40	35

表 稲羽東小学校区の対象児童数

敷地候補地	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
稲羽西小学校	115	115	105	88	71	57	46	39
稲羽東小学校	4	4	4	3	3	2	2	2
稲羽中学校	81	81	74	62	50	40	32	28

次に第一段階で選定した再編パターンについて、再編後の義務教育学校の敷地候補地における通学支援対象児童数を整理する。

● (I) I 

表 対象児童数 (I) I - A義務教育学校

再編後の学校 整備候補地	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
	A義務教育学校(稲西+稲東)							
稲羽西小	136	137	125	106	87	71	58	50
稲羽東小	227	237	224	197	170	147	133	117
稲羽中	149	152	141	121	101	84	72	63

### 3) 川島中学校グループ

川島中学校グループの各小学校区における通学支援対象児童数は以下の通りである。

表 川島小学校区の対象児童数

敷地候補地	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
川島小学校	43	38	36	36	35	33	31	29
川島中学校	43	39	36	36	35	34	32	29

次に第一段階で選定した再編パターンについて、再編後の義務教育学校の敷地候補地における通学支援対象児童数を整理する。



表 対象児童数 I - A義務教育学校

再編後の学校	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
整備候補地								
A義務教育学校(川島)								
川島小	43	38	36	36	35	33	31	29
川島中	43	39	36	36	35	34	32	29

#### 4) 鶺沼・中央中学校グループ

鶺沼・中央中学校グループの各小学校区における通学支援対象児童数は以下の通りである。

表 鶺沼第一小学校区の対象児童数

敷地候補地	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
鶺沼第一小学校	0	0	0	0	0	0	0	0
鶺沼第二小学校	404	383	384	384	375	356	335	322
八木山小学校	159	151	151	151	148	140	132	127
陵南小学校	506	480	481	481	470	445	420	403
各務小学校	558	529	530	530	518	491	463	444
中央小学校	558	529	530	530	518	491	463	444
鶺沼中学校	228	216	217	217	212	201	189	181
中央中学校	558	529	530	530	518	491	463	444

表 鶺沼第二小学校区の対象児童数

敷地候補地	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
鶺沼第一小学校	497	556	561	577	553	522	501	479
鶺沼第二小学校	0	0	0	0	0	0	0	0
八木山小学校	497	556	560	576	553	521	501	479
陵南小学校	218	243	245	252	242	228	219	210
各務小学校	243	272	274	282	270	255	245	234
中央小学校	262	293	296	304	292	275	264	253
鶺沼中学校	281	314	317	326	312	295	283	271
中央中学校	167	187	188	194	186	175	168	161

表 八木山小学校区の対象児童数

敷地候補地	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
鶺沼第一小学校	1	1	1	1	1	1	1	1
鶺沼第二小学校	126	127	119	101	86	76	66	56
八木山小学校	0	0	0	0	0	0	0	0
陵南小学校	134	136	127	108	92	81	70	60
各務小学校	126	128	119	102	87	76	66	57
中央小学校	134	136	127	108	92	81	70	60
鶺沼中学校	1	1	1	1	1	1	1	1
中央中学校	134	136	127	108	92	81	70	60

表 陵南小学校区の対象児童数

敷地候補地	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
鵜沼第一小学校	243	248	280	279	263	241	213	190
鵜沼第二小学校	8	8	9	9	9	8	7	6
八木山小学校	243	248	280	279	263	241	213	190
陵南小学校	0	0	0	0	0	0	0	0
各務小学校	243	248	280	279	263	241	213	190
中央小学校	243	248	280	279	263	241	213	190
鵜沼中学校	243	248	280	279	263	241	213	190
中央中学校	243	248	280	279	263	241	213	190

表 各務小学校区の対象児童数

敷地候補地	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
鵜沼第一小学校	118	114	108	94	78	67	57	48
鵜沼第二小学校	81	78	74	64	53	46	39	33
八木山小学校	72	69	66	57	47	41	35	29
陵南小学校	118	114	108	94	78	67	57	48
各務小学校	14	13	13	11	9	8	7	6
中央小学校	111	107	102	89	74	63	54	46
鵜沼中学校	57	55	52	45	38	32	28	23
中央中学校	100	97	92	80	66	57	49	41

表 中央小学校区の対象児童数

敷地候補地	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
鵜沼第一小学校	331	321	326	309	280	257	237	219
鵜沼第二小学校	235	228	232	220	199	183	169	156
八木山小学校	331	321	326	309	280	257	237	219
陵南小学校	331	321	326	309	280	257	237	219
各務小学校	259	252	255	242	219	201	186	172
中央小学校	0	0	0	0	0	0	0	0
鵜沼中学校	331	321	326	309	280	257	237	219
中央中学校	0	0	0	0	0	0	0	0

次に第一段階で選定した再編パターンについて、再編後の小学校・義務教育学校の敷地候補地における通学支援対象児童数を整理する。

● (1)②

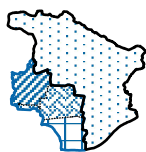


表 対象児童数 (1)② - A小学校

再編後の学校 整備候補地	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
	A小学校(鵜一+八+各)							
鵜沼第一小	119	115	109	95	79	68	58	49
八木山小	231	220	217	208	195	181	167	156
各務小	698	670	662	643	614	575	536	507

● (1)③



表 対象児童数 (1)③ - A小学校

再編後の学校 整備候補地	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
	A小学校(八+各+中)							
八木山小	403	390	392	366	327	298	272	248
各務小	399	393	387	355	315	285	259	235
中央小	245	243	229	197	166	144	124	106

● (1)④



表 対象児童数 (1)④ - A小学校

再編後の学校 整備候補地	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
	A小学校(鵜二+八+各)							
鵜沼第二小	207	205	193	165	139	122	105	89
八木山小	569	625	626	633	600	562	536	508
各務小	383	413	406	395	366	339	318	297

● (2)①



表 対象児童数 (2)① - A、B小学校

再編後の学校	整備候補地	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
		A小学校(鵜一+八)							
	鵜沼第一小	1	1	1	1	1	1	1	1
	八木山小	159	151	151	151	148	140	132	127
B小学校(各+中)									
	各務小	273	265	268	253	228	209	193	178
	中央小	111	107	102	89	74	63	54	46

● (2)②



表 対象児童数 (2)② - A、B小学校

再編後の学校	整備候補地	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
		A小学校(鵜一+八)							
	鵜沼第一小	1	1	1	1	1	1	1	1
	八木山小	159	151	151	151	148	140	132	127
B小学校(鵜二+各)									
	鵜沼第二小	81	78	74	64	53	46	39	33
	各務小	257	285	287	293	279	263	252	240

● (1)②IV

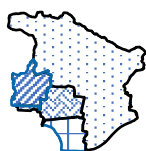


表 対象児童数 (1)②IV - A、B、C、D義務教育学校

再編後の学校	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
整備候補地								
A義務教育学校(鵜一+八+各)								
鵜沼第一小	119	115	109	95	79	68	58	49
八木山小	231	220	217	208	195	181	167	156
各務小	698	670	662	643	614	575	536	507
鵜沼中	286	272	270	263	251	234	218	205
B義務教育学校(鵜二)								
鵜沼第二小	0	0	0	0	0	0	0	0
中央中	167	187	188	194	186	175	168	161
C義務教育学校(陵)								
陵南小	0	0	0	0	0	0	0	0
中央中	243	248	280	279	263	241	213	190
D義務教育学校(中)								
中央小	0	0	0	0	0	0	0	0
中央中	0	0	0	0	0	0	0	0

● (1)③Ⅲ



表 対象児童数 (1)③Ⅲ - A、B、C、D義務教育学校

再編後の学校	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
整備候補地								
A義務教育学校(鵜一)								
鵜沼第一小	0	0	0	0	0	0	0	0
鵜沼中	228	216	217	217	212	201	189	181
B義務教育学校(鵜二)								
鵜沼第二小	0	0	0	0	0	0	0	0
中央中	167	187	188	194	186	175	168	161
C義務教育学校(陵)								
陵南小	0	0	0	0	0	0	0	0
中央中	243	248	280	279	263	241	213	190
D義務教育学校(八+各+中)								
八木山小	403	390	392	366	327	298	272	248
各務小	399	393	387	355	315	285	259	235
中央小	245	243	229	197	166	144	124	106
鵜沼中	389	377	379	355	319	290	266	243
中央中	234	233	219	188	158	138	119	101

● (2)①Ⅲ

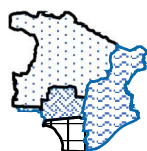


表 対象児童数 (2)①Ⅲ - A、B、C、D義務教育学校

再編後の学校 整備候補地	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
	<b>A義務教育学校(鵜一+八)</b>							
鵜沼第一小	1	1	1	1	1	1	1	1
八木山小	159	151	151	151	148	140	132	127
鵜沼中	229	217	218	218	213	202	190	182
<b>B義務教育学校(鵜二)</b>								
鵜沼第二小	0	0	0	0	0	0	0	0
中央中	167	187	188	194	186	175	168	161
<b>C義務教育学校(陵)</b>								
陵南小	0	0	0	0	0	0	0	0
中央中	243	248	280	279	263	241	213	190
<b>D義務教育学校(各+中)</b>								
各務小	273	265	268	253	228	209	193	178
中央小	111	107	102	89	74	63	54	46
鵜沼中	388	376	378	354	318	289	265	242
中央中	100	97	92	80	66	57	49	41

● (2)② I



表 対象児童数 (2)② I - A、B、C、D義務教育学校

再編後の学校	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
整備候補地								
<b>A義務教育学校(鶺一+八)</b>								
鶺沼第一小	1	1	1	1	1	1	1	1
八木山小	159	151	151	151	148	140	132	127
鶺沼中	229	217	218	218	213	202	190	182
<b>B義務教育学校(鶺二+各)</b>								
鶺沼第二小	81	78	74	64	53	46	39	33
各務小	257	285	287	293	279	263	252	240
鶺沼中	338	369	369	371	350	327	311	294
中央中	267	284	280	274	252	232	217	202
<b>C義務教育学校(陵)</b>								
陵南小	0	0	0	0	0	0	0	0
中央中	243	248	280	279	263	241	213	190
<b>D義務教育学校(中)</b>								
中央小	0	0	0	0	0	0	0	0
中央中	0	0	0	0	0	0	0	0

## 5) 緑陽中学校グループ

緑陽中学校グループの各小学校区における通学支援対象児童数は以下の通りである。

表 鶺沼第三小学校区の対象児童数

敷地候補地	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
鶺沼第三小学校	0	0	0	0	0	0	0	0
緑苑小学校	69	56	60	61	59	55	52	47
緑陽中学校	103	84	90	92	88	83	77	70

表 緑苑小学校区の対象児童数

敷地候補地	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
鶺沼第三小学校	0	0	0	0	0	0	0	0
緑苑小学校	0	0	0	0	0	0	0	0
緑陽中学校	0	0	0	0	0	0	0	0

次に第一段階で選定した再編パターンについて、再編後の小学校・義務教育学校の敷地候補地における通学支援対象児童数を整理する。



表 対象児童数 (I) - A小学校

再編後の学校	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
整備候補地								
A小学校(鶺三+緑苑)								
鶺沼第三小	0	0	0	0	0	0	0	0
緑苑小	69	56	60	61	59	55	52	47



表 対象児童数 (I) I - A義務教育学校

再編後の学校	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
整備候補地								
A義務教育学校(鶺三+緑苑)								
鶺沼第三小	0	0	0	0	0	0	0	0
緑苑小	69	56	60	61	59	55	52	47
緑陽中	103	84	90	92	88	83	77	70

## 6) 蘇原中学校グループ

蘇原中学校グループの各小学校区における通学支援対象児童数は以下の通りである。

表 蘇原第一小学校区の対象児童数

敷地候補地	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
蘇原第一小学校	69	70	65	60	53	47	41	36
蘇原第二小学校	184	185	174	161	142	124	108	95
蘇原中学校	133	133	125	116	102	89	78	69

表 蘇原第二小学校区の対象児童数

敷地候補地	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
蘇原第一小学校	3	3	3	3	3	3	2	2
蘇原第二小学校	0	0	0	0	0	0	0	0
蘇原中学校	0	0	0	0	0	0	0	0

次に第一段階で選定した再編パターンについて、再編後の義務教育学校の敷地候補地における通学支援対象児童数を整理する。

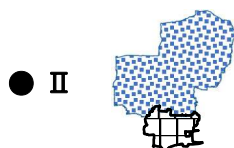


表 対象児童数 II - A、B義務教育学校

再編後の学校	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
整備候補地								
A義務教育学校(蘇一)								
蘇原第一小	69	70	65	60	53	47	41	36
蘇原中	133	133	125	116	102	89	78	69
B義務教育学校(蘇二)								
蘇原第二小	0	0	0	0	0	0	0	0
蘇原中	0	0	0	0	0	0	0	0

## ② 学校敷地面積の整理

### (1) 必要敷地面積基準の設定

初めに小学校・中学校・義務教育学校において、学校規模ごとに必要となる敷地面積を算出する。

敷地面積は、第一段階の評価において、適正規模から大規模校②までを許容していることから、以下に示す学校規模のうち、「適正規模校」「大規模校①」「大規模校②」について算出を行う。また、算出のフローを示す。

表 学校規模(再掲)

学校規模		小規模校		適正規模校	大規模校		適正化すべき過大規模校
		適正化すべき小規模校			大規模校①	大規模校②	
小学校	児童数 (想定学級数)	120人以下 かつ 6学級以下	121~215人 (11学級以下)	216~630人 (12~18学級)	631~840人 (19~24学級)	841~1,050人 (25~30学級)	1,051人~ (31学級以上)
			121~212人 (8学級以下)	213~630人 (9~18学級)	631~840人 (19~24学級)	841~1,050人 (25~30学級)	
中学校	生徒数 (想定学級数)	120人以下 かつ 6学級以下	121~212人 (8学級以下)	213~630人 (9~18学級)	631~840人 (19~24学級)	841~1,050人 (25~30学級)	1,051人~ (31学級以上)
			181~323人 (17学級以下)	324~945人 (18~27学級)	946~1,260人 (28~36学級)	1,261~1,575人 (37~45学級)	
義務教育学校	児童生徒数 (想定学級数)	180人以下 かつ 9学級以下	181~323人 (17学級以下)	324~945人 (18~27学級)	946~1,260人 (28~36学級)	1,261~1,575人 (37~45学級)	1,576人~ (46学級以上)
			181~323人 (17学級以下)	324~945人 (18~27学級)	946~1,260人 (28~36学級)	1,261~1,575人 (37~45学級)	

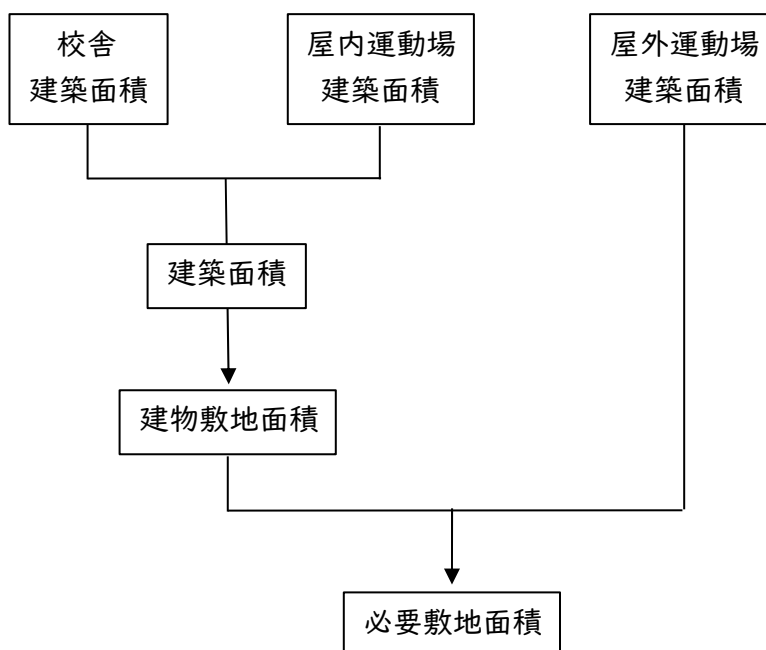


図 検討フロー

ア)校舎面積

各学校規模における児童生徒数より、校舎の必要面積を算定する。必要面積の算定にあたっては、「義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令」(昭和33年政令第189号)に基づいて検討する。

なお、本検討において、学級数は各規模における最大数とし、特別支援学級の学級数は、市内の中学校及び小学校の普通教室数に対する特別支援学級の割合の平均(約20%)をもとに算出する。また、面積算定においては、多目的教室及び少人数教室を設けることを想定し、面積加算を加味する。上記算定条件を踏まえ、算出した各規模の校舎の必要面積を下表に示す。

表 施行令における算定表(小学校校舎)

必要面積	1~2学級	$769+279 \times (\text{学級数}-1)$
	3~5学級	$1,326+381 \times (\text{学級数}-3)$
	6~11学級	$2,468+236 \times (\text{学級数}-6)$
	12~17学級	$3,881+187 \times (\text{学級数}-12)$
	18学級以上	$5,000+173 \times (\text{学級数}-18)$
	特別支援学級 1学級につき168を加える	
多目的教室加算	必要面積の18.0%	

表 施行令における算定表(中学校校舎)

必要面積	1~2学級	$848+651 \times (\text{学級数}-1)$
	3~5学級	$2,150+344 \times (\text{学級数}-3)$
	6~11学級	$3,181+324 \times (\text{学級数}-6)$
	12~17学級	$5,129+160 \times (\text{学級数}-12)$
	18学級以上	$6,088+217 \times (\text{学級数}-18)$
	特別支援学級 1学級につき168を加える	
多目的教室加算	必要面積の10.5%	

表 普通教室数に対する特別支援学級数の割合

	普通教室数	特別支援学級数	割合	平均
小学校	247	51	21%	20%
中学校	117	22	19%	

表 学校種及び各学校規模における必要校舎面積

区分	学校規模	小学校学級数	中学校学級数	学級数合計	特別支援学級(小学校)	特別支援学級(中学校)	小学校必要面積	中学校必要面積	合計
小学校	適正規模校	18	-	18	4	-	6,700㎡	-	-
	大規模校①	24	-	24	5	-	8,200㎡	-	-
	大規模校②	30	-	30	6	-	9,600㎡	-	-
中学校	適正規模校	-	18	18	-	4	-	7,500㎡	-
	大規模校①	-	24	24	-	5	-	9,100㎡	-
	大規模校②	-	30	30	-	6	-	10,800㎡	-
義務教育学校	適正規模校	18	9	27	4	2	6,700㎡	5,000㎡	11,700㎡
	大規模校①	24	12	36	5	2	8,200㎡	6,100㎡	14,300㎡

イ) 屋内運動場

屋内運動場の規模も校舎面積と同様に「義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令」(昭和33年政令第189号)に基づいて算定する。

表 施行令における算定表(小学校屋内運動場)

必要面積	1~10学級	894㎡
	11~15学級	919㎡
	16学級以上	1,215㎡

表 施行令における算定表(中学校屋内運動場)

必要面積	1~17学級	1,138㎡
	18学級以上	1,476㎡

表 学校種及び各学校規模における必要屋内運動場面積

区分	学校規模	小学校 学級数	中学校 学級数	学級数 合計	小学校 必要面積	中学校 必要面積	合計
小学校	適正規模校	18	-	18	1,220㎡		
	大規模校①	24	-	24	1,220㎡		
	大規模校②	30	-	30	1,220㎡		
中学校	適正規模校	-	18	18		1,480㎡	
	大規模校①	-	24	24		1,480㎡	
	大規模校②	-	30	30		1,480㎡	
義務教育学校	適正規模校	18	9	27			2,700㎡
	大規模校①	24	12	36			2,700㎡

ウ) 建物敷地面積

建物敷地面積(校舎及び屋内運動場、付帯設備が建つエリア)の面積を算定するため、現在の中学校、小学校における建築面積に対する建物敷地面積の割合(以下、建蔽率とする)を下記に整理する。本検討においては、最低限必要となる敷地面積を算出することを目的とするため、各学校の建蔽率のうち、小学校において最も大きい値が50.4%、中学校において最も大きい値が48.0%であることを踏まえ、ア)、イ)にて算出した校舎面積及び屋内運動場の建築面積を50%で割り戻した値を建物敷地面積とする。

学校名称	建物敷地面積	建築面積	建蔽率	採用値
那加第一小学校	23,805㎡	2,464㎡	10.4%	50.0%
那加第二小学校	13,752㎡	3,439㎡	25.0%	
那加第三小学校	10,390㎡	2,680㎡	25.8%	
尾崎小学校	9,980㎡	2,731㎡	27.4%	
稲羽西小学校	9,166㎡	2,700㎡	29.5%	
稲羽東小学校	7,673㎡	3,441㎡	44.8%	
川島小学校	10,129㎡	2,405㎡	23.7%	
鵜沼第一小学校	8,038㎡	3,080㎡	38.3%	
鵜沼第二小学校	6,321㎡	3,188㎡	50.4%	
鵜沼第三小学校	10,618㎡	3,140㎡	29.6%	
緑苑小学校	11,000㎡	3,052㎡	27.7%	
八木山小学校	10,379㎡	2,500㎡	24.1%	
陵南小学校	14,182㎡	2,883㎡	20.3%	
各務小学校	7,005㎡	2,436㎡	34.8%	
蘇原第一小学校	10,438㎡	3,390㎡	32.5%	
蘇原第二小学校	8,286㎡	3,238㎡	39.1%	
中央小学校	12,319㎡	3,081㎡	25.0%	
那加中学校	15,115㎡	4,326㎡	28.6%	
桜丘中学校	16,892㎡	4,079㎡	24.1%	
稲羽中学校	14,780㎡	3,064㎡	20.7%	
川島中学校	4,469㎡	2,146㎡	48.0%	
鵜沼中学校	8,057㎡	3,543㎡	44.0%	
緑陽中学校	10,000㎡	3,253㎡	32.5%	
蘇原中学校	15,115㎡	3,328㎡	22.0%	
中央中学校	11,116㎡	3,722㎡	33.5%	

エ)屋外運動場

屋外運動場の規模は、「学校設置基準(文部科学省)」に基づいて算出を行う。以下にそれぞれの児童生徒数に応じた屋外運動場の面積算定式を示す。

また、本検討において、義務教育学校の運動場面積は、中学校の算定基準を準用する。

表 屋外運動場の設置基準(小学校)

児童数	面積(m <sup>2</sup> )
1~240人以下	2,400
241人以上、720人以下	2,400+10×(児童数-240)
721人以上	7,200

表 屋外運動場の設置基準(中学校)

生徒数	面積(m <sup>2</sup> )
1~240人以下	3,600
241人以上、720人以下	3,600+10×(児童数-240)
721人以上	8,400

表 学校種及び各学校規模における必要屋外運動場面積

区分	学校規模	小学校 児童数	中学校 生徒数	小学校 運動場面積	中学校 運動場面積
小学校	適正規模校	630		6,300m <sup>2</sup>	
	大規模校①	840		7,200m <sup>2</sup>	
	大規模校②	1050		7,200m <sup>2</sup>	
中学校	適正規模校		630		7,500m <sup>2</sup>
	大規模校①		840		8,400m <sup>2</sup>
	大規模校②		1050		8,400m <sup>2</sup>

オ) 必要敷地面積の整理

前項までに整理した条件をもとに、学校種及び各学校規模における必要敷地面積を下記の通り整理する。

なお、「小学校整備指針(文部科学省)」及び「中学校整備指針(同省)」において、小学校の校舎等は3階以下の建物、中学校の校舎等は4階以下の建物で計画することが望ましいとされていることを踏まえ、校舎建築面積の算定にあたっては、小学校は3階、中学校及び義務教育学校は4階を基本的な校舎階数とする。

表 学校種及び各学校規模における必要敷地面積

小学校			適正規模校(12~18学級)			大規模校①(19~24学級)			大規模校②(25~30学級)		
校舎階数(N)			2階建	3階建	4階建	2階建	3階建	4階建	2階建	3階建	4階建
校舎	延べ面積(A)		6,700 m <sup>2</sup>			8,200 m <sup>2</sup>			9,600 m <sup>2</sup>		
	建築面積(B)	(A/N)	3,350 m <sup>2</sup>	2,233 m <sup>2</sup>	1,675 m <sup>2</sup>	4,100 m <sup>2</sup>	2,733 m <sup>2</sup>	2,050 m <sup>2</sup>	4,800 m <sup>2</sup>	3,200 m <sup>2</sup>	2,400 m <sup>2</sup>
屋内運動場	建築面積(C)		1,220 m <sup>2</sup>			1,220 m <sup>2</sup>			1,220 m <sup>2</sup>		
建築面積合計(D)		(B+C)	4,570 m <sup>2</sup>	3,453 m <sup>2</sup>	2,895 m <sup>2</sup>	5,320 m <sup>2</sup>	3,953 m <sup>2</sup>	3,270 m <sup>2</sup>	6,020 m <sup>2</sup>	4,420 m <sup>2</sup>	3,620 m <sup>2</sup>
建物敷地面積(E)		(D/0.5)	9,200 m <sup>2</sup>	7,000 m <sup>2</sup>	5,800 m <sup>2</sup>	10,700 m <sup>2</sup>	8,000 m <sup>2</sup>	6,600 m <sup>2</sup>	12,100 m <sup>2</sup>	8,900 m <sup>2</sup>	7,300 m <sup>2</sup>
屋外運動場面積(F)			6,300 m <sup>2</sup>			7,200 m <sup>2</sup>			7,200 m <sup>2</sup>		
必要敷地面積(G)		(E+F)	15,500 m <sup>2</sup>	13,300 m <sup>2</sup>	12,100 m <sup>2</sup>	17,900 m <sup>2</sup>	15,200 m <sup>2</sup>	13,800 m <sup>2</sup>	19,300 m <sup>2</sup>	16,100 m <sup>2</sup>	14,500 m <sup>2</sup>

中学校			適正規模校(9~18学級)			大規模校①(19~24学級)			大規模校②(25~30学級)		
校舎階数(N)			3階建	4階建	5階建	3階建	4階建	5階建	3階建	4階建	5階建
校舎	延べ面積(A)		7,500 m <sup>2</sup>			9,100 m <sup>2</sup>			10,800 m <sup>2</sup>		
	建築面積(B)	(A/N)	2,500 m <sup>2</sup>	1,875 m <sup>2</sup>	1,500 m <sup>2</sup>	3,033 m <sup>2</sup>	2,275 m <sup>2</sup>	1,820 m <sup>2</sup>	3,600 m <sup>2</sup>	2,700 m <sup>2</sup>	2,160 m <sup>2</sup>
屋内運動場	建築面積(C)		1,480 m <sup>2</sup>			1,480 m <sup>2</sup>			1,480 m <sup>2</sup>		
建築面積合計(D)		(B+C)	3,980 m <sup>2</sup>	3,355 m <sup>2</sup>	2,980 m <sup>2</sup>	4,513 m <sup>2</sup>	3,755 m <sup>2</sup>	3,300 m <sup>2</sup>	5,080 m <sup>2</sup>	4,180 m <sup>2</sup>	3,640 m <sup>2</sup>
建物敷地面積(E)		(D/0.5)	8,000 m <sup>2</sup>	6,800 m <sup>2</sup>	6,000 m <sup>2</sup>	9,100 m <sup>2</sup>	7,600 m <sup>2</sup>	6,600 m <sup>2</sup>	10,200 m <sup>2</sup>	8,400 m <sup>2</sup>	7,300 m <sup>2</sup>
屋外運動場面積(F)			7,500 m <sup>2</sup>			8,400 m <sup>2</sup>			8,400 m <sup>2</sup>		
必要敷地面積(G)		(E+F)	15,500 m <sup>2</sup>	13,100 m <sup>2</sup>	12,300 m <sup>2</sup>	17,500 m <sup>2</sup>	16,000 m <sup>2</sup>	15,000 m <sup>2</sup>	18,600 m <sup>2</sup>	16,800 m <sup>2</sup>	15,700 m <sup>2</sup>

義務教育学校			適正規模校(18~27学級)			大規模校①(28~36学級)			大規模校②(37~45学級)		
校舎階数(N)			3階建	4階建	5階建	3階建	4階建	5階建			
校舎	延べ面積(A)		11,700 m <sup>2</sup>			14,300 m <sup>2</sup>					
	建築面積(B)	(A/N)	3,900 m <sup>2</sup>	2,925 m <sup>2</sup>	2,340 m <sup>2</sup>	4,767 m <sup>2</sup>	3,575 m <sup>2</sup>	2,860 m <sup>2</sup>			
屋内運動場	建築面積(C)		2,700 m <sup>2</sup>			2,700 m <sup>2</sup>					
建築面積合計(D)		(B+C)	6,600 m <sup>2</sup>	5,625 m <sup>2</sup>	5,040 m <sup>2</sup>	7,467 m <sup>2</sup>	6,275 m <sup>2</sup>	5,560 m <sup>2</sup>			
建物敷地面積(E)		(D/0.5)	13,200 m <sup>2</sup>	11,300 m <sup>2</sup>	10,100 m <sup>2</sup>	15,000 m <sup>2</sup>	12,600 m <sup>2</sup>	11,200 m <sup>2</sup>			
屋外運動場面積(F)			7,500 m <sup>2</sup>			8,400 m <sup>2</sup>					
必要敷地面積(G)		(E+F)	20,700 m <sup>2</sup>	18,800 m <sup>2</sup>	17,600 m <sup>2</sup>	23,400 m <sup>2</sup>	21,000 m <sup>2</sup>	19,600 m <sup>2</sup>			

## (2) 各学校敷地における敷地面積整理

次に現在の各学校敷地と、前項で整理した学校種及び各学校規模における必要敷地面積を比較し、必要な敷地面積が確保されているか整理する。

表 学校種及び各学校規模における必要敷地面積(まとめ)

小学校								
適正規模校 (12~18 学級)			大規模校① (19~24 学級)			大規模校② (25~30 学級)		
2 階建	3 階建	4 階建	2 階建	3 階建	4 階建	2階建	3階建	4階建
15,500㎡	13,300㎡	12,100㎡	17,900㎡	15,200㎡	13,800㎡	19,300㎡	16,100㎡	14,500㎡

中学校								
適正規模校 (9~18 学級)			大規模校① (19~24 学級)			大規模校② (25~30 学級)		
3 階建	4 階建	5 階建	3 階建	4 階建	5 階建	3階建	4階建	5階建
15,500㎡	13,100㎡	12,300㎡	17,500㎡	16,000㎡	15,000㎡	18,600㎡	16,800㎡	15,700㎡

義務教育学校								
適正規模校 (18~27 学級)			大規模校① (28~36 学級)			大規模校② (37~45 学級)		
3 階建	4 階建	5 階建	3 階建	4 階建	5 階建			
20,700㎡	18,800㎡	17,600㎡	23,400㎡	21,000㎡	19,600㎡			

表 各学校敷地と必要敷地面積との比較

学校名称	敷地面積 (㎡)	学校種	必要敷地面積		
			適正規模校	大規模校①	大規模校②
那加第一小学校	40,109	小学校	◎(可能)	◎(可能)	◎(可能)
		中学校	◎(可能)	◎(可能)	◎(可能)
		義務教育学校	◎(可能)	◎(可能)	
那加第二小学校	30,499	小学校	◎(可能)	◎(可能)	◎(可能)
		中学校	◎(可能)	◎(可能)	◎(可能)
		義務教育学校	◎(可能)	◎(可能)	
那加第三小学校	19,540	小学校	◎(可能)	◎(可能)	◎(可能)
		中学校	◎(可能)	◎(可能)	◎(可能)
		義務教育学校	◎(可能)	△(要敷地拡張)	
尾崎小学校	45,426	小学校	◎(可能)	◎(可能)	◎(可能)
		中学校	◎(可能)	◎(可能)	◎(可能)
		義務教育学校	◎(可能)	◎(可能)	
稲羽西小学校	22,921	小学校	◎(可能)	◎(可能)	◎(可能)
		中学校	◎(可能)	◎(可能)	◎(可能)
		義務教育学校	◎(可能)	◎(可能)	
稲羽東小学校	15,526	小学校	◎(可能)	◎(可能)	○(要4階建)
		中学校	◎(可能)	○(要5階建)	△(要敷地拡張)
		義務教育学校	△(要敷地拡張)	△(要敷地拡張)	
川島小学校	21,851	小学校	◎(可能)	◎(可能)	◎(可能)
		中学校	◎(可能)	◎(可能)	◎(可能)
		義務教育学校	◎(可能)	◎(可能)	
鵜沼第一小学校	22,265	小学校	◎(可能)	◎(可能)	◎(可能)
		中学校	◎(可能)	◎(可能)	◎(可能)
		義務教育学校	◎(可能)	◎(可能)	
鵜沼第二小学校	15,157	小学校	◎(可能)	○(要4階建)	○(要4階建)
		中学校	◎(可能)	○(要5階建)	△(要敷地拡張)
		義務教育学校	△(要敷地拡張)	△(要敷地拡張)	

学校名称	敷地面積 (㎡)	学校種	必要敷地面積		
			適正規模校	大規模校①	大規模校②
鵜沼第三小学校	19,930	小学校	◎(可能)	◎(可能)	◎(可能)
		中学校	◎(可能)	◎(可能)	◎(可能)
		義務教育学校	◎(可能)	○(要5階建)	
緑苑小学校	38,666	小学校	◎(可能)	◎(可能)	◎(可能)
		中学校	◎(可能)	◎(可能)	◎(可能)
		義務教育学校	◎(可能)	◎(可能)	
八木山小学校	21,804	小学校	◎(可能)	◎(可能)	◎(可能)
		中学校	◎(可能)	◎(可能)	◎(可能)
		義務教育学校	◎(可能)	◎(可能)	
陵南小学校	38,136	小学校	◎(可能)	◎(可能)	◎(可能)
		中学校	◎(可能)	◎(可能)	◎(可能)
		義務教育学校	◎(可能)	◎(可能)	
各務小学校	15,529	小学校	◎(可能)	◎(可能)	○(要4階建)
		中学校	◎(可能)	○(要5階建)	△(要敷地拡張)
		義務教育学校	△(要敷地拡張)	△(要敷地拡張)	
蘇原第一小学校	19,832	小学校	◎(可能)	◎(可能)	◎(可能)
		中学校	◎(可能)	◎(可能)	◎(可能)
		義務教育学校	◎(可能)	○(要5階建)	
蘇原第二小学校	19,169	小学校	◎(可能)	◎(可能)	◎(可能)
		中学校	◎(可能)	◎(可能)	◎(可能)
		義務教育学校	◎(可能)	△(要敷地拡張)	
中央小学校	22,004	小学校	◎(可能)	◎(可能)	◎(可能)
		中学校	◎(可能)	◎(可能)	◎(可能)
		義務教育学校	◎(可能)	◎(可能)	
那加中学校	45,373	小学校	◎(可能)	◎(可能)	◎(可能)
		中学校	◎(可能)	◎(可能)	◎(可能)
		義務教育学校	◎(可能)	◎(可能)	

学校名称	敷地面積 (㎡)	学校種	必要敷地面積		
			適正規模校	大規模校①	大規模校②
桜丘中学校	38,623	小学校	◎(可能)	◎(可能)	◎(可能)
		中学校	◎(可能)	◎(可能)	◎(可能)
		義務教育学校	◎(可能)	◎(可能)	
稲羽中学校	28,251	小学校	◎(可能)	◎(可能)	◎(可能)
		中学校	◎(可能)	◎(可能)	◎(可能)
		義務教育学校	◎(可能)	◎(可能)	
川島中学校	10,999	小学校	△(要敷地拡張)	△(要敷地拡張)	△(要敷地拡張)
		中学校	△(要敷地拡張)	△(要敷地拡張)	△(要敷地拡張)
		義務教育学校	△(要敷地拡張)	△(要敷地拡張)	
川島中学校 + 川島小学校 (※)	32,850	小学校	◎(可能)	◎(可能)	◎(可能)
		中学校	◎(可能)	◎(可能)	◎(可能)
		義務教育学校	◎(可能)	◎(可能)	
鵜沼中学校	39,775	小学校	◎(可能)	◎(可能)	◎(可能)
		中学校	◎(可能)	◎(可能)	◎(可能)
		義務教育学校	◎(可能)	◎(可能)	
緑陽中学校	70,476	小学校	◎(可能)	◎(可能)	◎(可能)
		中学校	◎(可能)	◎(可能)	◎(可能)
		義務教育学校	◎(可能)	◎(可能)	
蘇原中学校	27,819	小学校	◎(可能)	◎(可能)	◎(可能)
		中学校	◎(可能)	◎(可能)	◎(可能)
		義務教育学校	◎(可能)	◎(可能)	
中央中学校	30,953	小学校	◎(可能)	◎(可能)	◎(可能)
		中学校	◎(可能)	◎(可能)	◎(可能)
		義務教育学校	◎(可能)	◎(可能)	

※川島中学校と川島小学校は隣接しており、グラウンド等の敷地が一体的に活用されている現状を踏まえ、川島中学校単体の敷地としてだけでなく、川島小学校も含めた全体の敷地としても比較を行う。